

<富士ソフト株式会社 2023 年 年頭所感>

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、ウクライナ問題をはじめとした激動の世界情勢の下、世界経済が大きく揺れ動き、国内においては急激な円安による物価上昇等、様々な問題が起きました。こういった社会情勢が不透明になる中で、多くの企業が企業競争力を強化するために、デジタル技術を活用した DX への期待が一層高まっています。当社は、そういったお客様のニーズに的確に対応していくことで、しっかり成長できた 1 年となりました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

2023 年度は、2022 年にスタートした中期経営計画の 2 年目になります。

昨年度は、コロナ禍がまだ終息しない中ではありましたが、中期経営計画に沿い、様々な活動を精力的に推進し、事業拡大を進めてきました。当社の最も重要な経営資源である人財強化を進めるため、積極的な採用と教育投資に引き続き注力してまいりました。その上で、継続的な技術強化を進め、より付加価値の高いサービスができるよう AIS-CRM (AI、IoT、Security、Cloud、Robot、Mobile、AutoMotive 分野の総称) 領域の強化とともに、IT コンサルティングやサービスデザインといった上流分野の強化も行い、さらに、5G やメタバースといった新たな分野の技術研究も進めてきました。また、ビジネス基盤を強化するため、当社自身の DX にも注力し、業務改革をベースとした社内変革、事業競争力強化のための適用等を推し進めています。こういった活動の中で蓄積した技術・ノウハウ・人財を元に、お客様の DX 支援に力を入れて進めてきました。

今年は、これらの取り組みをさらに強化・加速した上で、工場 DX やスマート工場のように IT と OT (Operational Technology) の技術を融合し新たな価値を創る DX 分野に注力していきます。

こういった活動を通し、中期経営計画の目標であるデジタル技術で IT、OT の両面から DX をリードし、お客様と社会の価値向上とイノベーションに貢献できる企業になるべく、邁進いたします。

当社は創業より 53 年、独立系の SIer として、社是である「挑戦と創造」を念頭に、常に新たなビジネス分野に弛まなく立ち向かってきました。昨年 4 月には、プライム市場へ移行し、さらに積極的な経営を行うべく、資本市場との対話も進めてきています。そういった中、12 月には、新たに 5 人の社外取締役を迎え入れ、経営体制を強化することができました。この新たな経営体制でしっかり舵取りを行い、さらなる企業価値向上に繋げていこうと考えています。

2023 年をさらなる飛躍の年とするために、あらゆる変化に機敏に対応していくことが重要だと考えています。富士ソフトは、めまぐるしく発展する ICT を探求し、柔軟かつゆるぎない技術力でよりよい未来につながるソリューションを実現します。ICT の専門プロ集団として、「ICT の発展をお客様価値向上に結びつけるイノベーショングループ」を目指してまいります。

2023 年 1 月 1 日
富士ソフト株式会社
代表取締役 社長執行役員
坂下 智保